



2017年5月15日

各 位

会 社 名 日本アジア投資株式会社
 代表者の役職名 代表取締役 細窪 政
 (コード番号 8518 東証一部)
 問い合わせ先 常務取締役 下村哲朗
 T E L 03(3259)8518

**香川県さぬき市における水上メガソーラー発電所 売電開始のお知らせ
 ～当社初の水上メガソーラー発電所が完工～**

この度、日本アジア投資株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:細窪 政、以下 当社)が地元パートナーと共同で香川県さぬき市において開発していた、ため池の上にパネルを浮かべる水上メガソーラー発電所が売電を開始いたしましたので、お知らせいたします。

水上メガソーラー発電所には、地上に建設する発電所に比べ、パネルを浮かべる設備が必要となる一方、複数のメリットがあります。例えば、建設に適した用地が限られて来ている昨今において「ため池」という周辺に遮蔽物が少なく、日照条件の良好な場所に建設できることや、パネルの設置面を平坦にするための造成工事が不要なこと、ため池水面による冷却効果でパネルやケーブル類の過剰な温度上昇が抑制され、発電効率が良いとされること、などが挙げられます。本発電所も、これらを楽しみ高い発電効率を見込んでいます。

また、本件は、当社にとって初の売電開始に至った水上メガソーラー発電所です。当社は、今後も、現在建設中や企画中の複数の水上メガソーラー発電所について、順次プロジェクトを進捗させる計画です。

メガソーラー発電所の概要

名称	野間池ソーラー発電所
最大出力	2.4MW (太陽電池パネル設置容量ベース)
年間予想発電電力量	約 299 万 kWh (一般家庭約 840 世帯分相当の年間電力消費量)
総事業費	約 8 億円 (うち約 80%を株式会社香川銀行からのプロジェクトファイナンスにより調達)
売電先	四国電力株式会社
買取価格 (FIT 価格)	36 円/kWh (消費税等含まず)



発電所の様子



竣工式の様子

当社は、売電収入を源泉とする安定収益獲得のために2018年3月までに100MW規模のメガソーラープロジェクトでの売電開始を目指してまいりました。その結果、2017年3月末現在において投資をしたプロジェクトは、売却や回収済みの案件を除き、合計で23件113.8MW(うち、当社出資持分67.0MW)まで拡大しました。

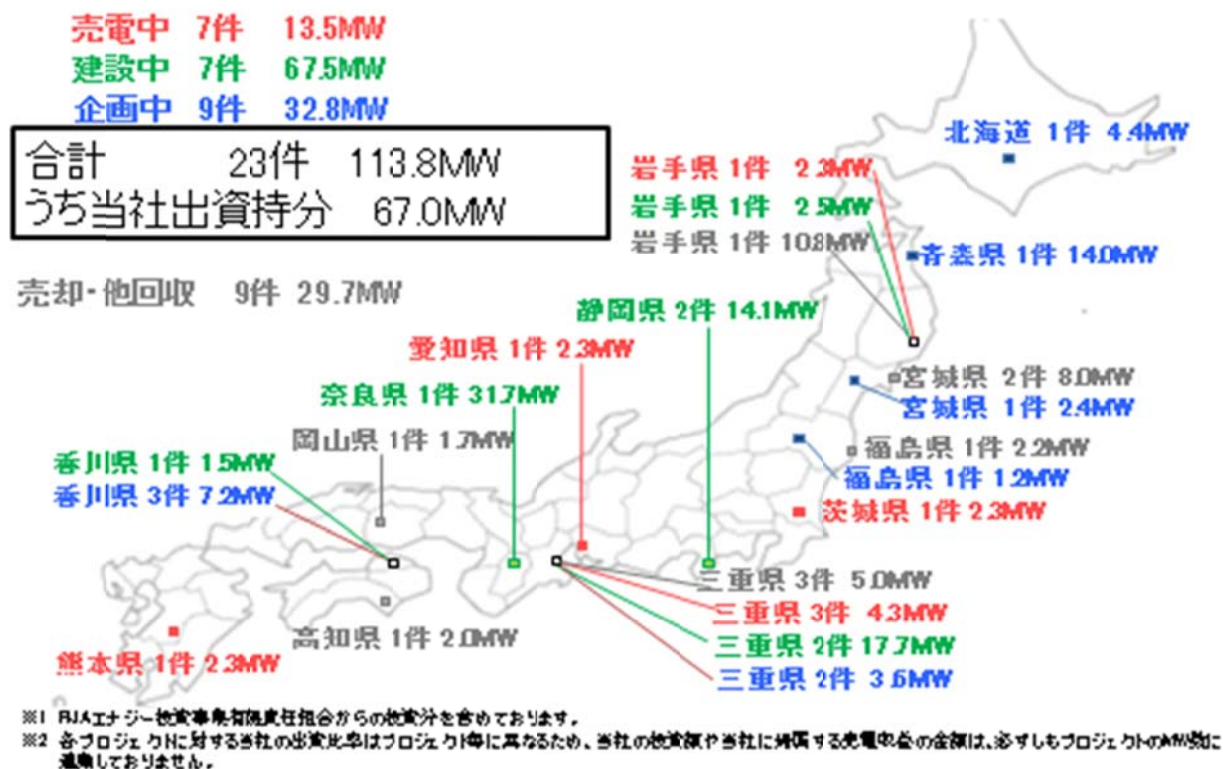
このように案件が順調に積み上がって来たことや、東京証券取引所の上場インフラファンド市場が開設されるなど外部環境が整備されてきたことから、今後は、一部のプロジェクトは売却し早期の収益機会も獲得していく方針です。

その一つとして、2017年3月29日には、東京証券取引所のインフラファンド市場に上場する「日本再生可能エネルギーインフラ投資法人」に対し、売電中のメガソーラー発電所のうち5件17.7MW(うち、当社出資持分16.6MW)を売却いたしました。

当社の2017年3月期の従来連結基準による財務諸表では、本件売却に伴う利益約7.7億円が営業収益に計上されております。詳細につきましては、平成29年5月15日付の当社決算短信をご覧ください。

当社は、今後も、各プロジェクトの事業化を確実に実現するとともに、有力なパートナー企業との協業を進めさらなる案件の開拓に努めてまいります。

<2017年3月末 メガソーラープロジェクト 累計投資実績>



当社のメガソーラープロジェクト実績一覧: 詳細は、下記 URL から各案件のリリースをご参照ください。

http://www.jaic-vc.co.jp/jcompany/jservice/14/Vcms4_00000259.html

以上